

今後の検討課題・スケジュールについて

平成29年1月30日

事務局

- 喫緊の課題として、IoTセキュリティ対策について検討
- 人材育成・普及啓発、情報共有、国際連携、研究開発等については、中長期的課題として検討

1. 喫緊の課題

IoTセキュリティ対策

- ・既に流通している脆弱性を有するIoT機器のセキュリティ対策をどのように実施していくべきか。
- ・今後製造するIoT機器のセキュリティ対策をどのように実施していくべきか。

2. 中長期的な課題

2. 1 人材育成・普及啓発

- ・我が国に必要なセキュリティ人材の類型・人数についてはどのように考えればよいか。
- ・我が国のサイバー演習の多様化・対象者の拡大の方策はどういったものが考えられるか。

2. 2 情報共有

- ・適切な対策を取れるよう、関係者間でのサイバー攻撃等の情報共有が重要となるが、情報共有を行う体制・仕組みをどのように構築していくべきか。
- ・共有の対象となる情報・範囲をどのように設定していくべきか。

2. 3 国際連携

- ・国際的な情報連携の取組として、日米欧のISAC間における情報共有を推進しているが、その他に実施すべき事項は何か。
- ・国際的な人材育成の取組として、ASEANハブの構築を支援しているが、その他に実施すべき事項は何か。

2. 4 研究開発

- ・IoT時代を迎え、サイバー攻撃が多様化、AI技術が進化する中、サイバーセキュリティ技術の研究開発はどうあるべきか。

スケジュール(案)

平成29年
1月30日(月)

3月8日(水) 3月下旬

4月～ (随時開催)

6月

第1回会合

- 現状把握
(国内外のサイバーセキュリティの状況と総務省等の対応状況の確認)
- 課題整理

第2回会合

- IoTセキュリティ対策について
(脆弱性への対応、注意喚起、情報共有のあり方等)

第3回会合

- 緊急に取り組むべきIoTセキュリティ対策の取組方針について

第4回以降

- 中長期的な課題について検討
(人材育成・普及啓発、情報共有、国際連携、研究開発等)
- 緊急課題については随時対応

会合

- 概算要求・制度整備等に向けた整理

喫緊の課題であるIoTセキュリティ対策に関し、早期に取組方針を決定

以降、総務省のサイバーセキュリティ施策の「司令塔」として随時開催

※タスクフォースの議論次第では、各会合の議題が変更となる可能性があります